

## 厚生労働省行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

### 1. 日 時

平成 29 年 5 月 9 日（火）10：00～11：45

### 2. 場 所

厚生労働省専用第 14 会議室

### 3. 出 席 者

外部有識者：井出委員、伊藤委員、大屋委員、栗原委員、増田委員、松村委員、  
横田委員

厚生労働省：大臣官房会計課長、会計企画官

### 4. 議 事 内 容

（議題）平成 29 年度公開プロセス対象事業の選定

厚生労働省から公開プロセス対象事業候補 16 事業について、事業概要、選定理由及び想定される論点の説明があり、外部有識者からの意見交換後、投票の結果、以下の 8 事業が今年度の公開プロセス対象事業として選定され、了承された。

- ・ 看護師の特定行為に係る研修機関支援事業
- ・ 都道府県がん対策推進事業
- ・ 医療費情報総合管理分析システムに要する経費
- ・ 年金関係文書等保管事業
- ・ 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業
- ・ 若年者地域連携事業
- ・ キャリア支援企業創出促進事業
- ・ 両立支援等助成金（女性活躍加速化コース）

なお、外部有識者からの主なコメントは次のとおり。

- 行政事業レビューや公開プロセスの意義は大きく二つに分けられ、一つは役所側では問題が見えていない課題について外部委員の立場から提言すること、もう一つは役所でもある程度問題は見えているものについて、公開の場で議論することである。

- 大きな政策目標の達成に向けた一部分の事業や、予算額が比較的低い事業については、公開プロセスの議論を通じた改善効果が限定的であるため、公開プロセスの優先順位は低くなる。
- 後発医薬品の普及はきわめて重要な政策目標であるが、今回の医薬品等産業振興費は後発医薬品の広報に関する事業であり、もう少し広く関連する事業や制度と合わせて議論しないと有効な改善策につながらないと思われ、公開プロセスとは別の場で議論すべきではないか。
- 医療費情報総合管理分析システムについては、統計データの収集・公表のためのシステム整備費という性質上、政策効果の議論にはなじみにくいが、他の医療関連のシステムとの重複やシステム整備全般の課題への横展開、統計データの活用等について議論するのであれば意義があるのではないか。
- 子ども・子育て支援体制整備総合推進事業については、保育士等の確保が喫緊の課題にも関わらず、制度改正後2、3年経過しても執行率が低く、アウトカムも未設定となっており、また、自治体のニーズと補助要件が合致しない可能性も考えられることから、有効に活用される事業とするための議論をすべきではないか。
- 障害者自立支援機器等開発促進事業については、新規開発からの製品化率としては必ずしも低いとは思わないが、開発にあわせた段階的な助成や事業者のサポートニーズに合った制度の見直しの余地もあるのではないか。
- 若年者地域連携事業については、ジョブカフェの位置づけやハローワークとの違い、地方自治体との役割分担を議論できるのではないか。
- 両立支援等助成金の事業については、政策目標の面では重要だが、実績を見ると有効に機能しておらず、目的に照らした事業の再編成や手法の見直しについて議論すべきではないか。